

2 6 東京都地域婦人団体連盟

行動計画記載の内容等	
1	ブロック別地域女性団体研究協議会を男女共同参加とし、ブロック別地域団体研究協議会とする。 特に、男性がいまだに主要役員を占めている町内会、自治会に参加を求める。また、準備段階からの男女共同参画をめざす。
2	「町会・自治会に関する調査」の実施（平成 15 年） ・各組織の中で参画する女性の実態を把握し、地域社会の男女共同参画の在り方を検討することを目的とする。 ・調査結果を基に、社会制度や慣習の見直しを積極的に働きかける。
3	政策・方針決定の場への参画 審議会・委員会等への半数以上の参画を求め、機会を得たら、積極的に行動する。
4	普及広報 東京地婦連機関誌『婦人時報』（毎月 1 回、15 日発行）を通して、男女平等参画に関する情報提供を行う。特に具体的な実施例を掲載する。
5	家事、介護、育児へ参加する男性・女性への支援 家庭内で家事や介護に取り組む男女、特にこれまで未経験で初めて家事等へ参加する男性への支援を行う地域のネットワークづくりを検討する。 地域に密着したきめ細かい学習プログラム、具体的・実践的な家事等への疑問、不安を取り除く相談等地域団体の特性を生かした取組みをめざす。

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 17 年度取組実績」

17 年度の具体的取組内容	実 績
<p>1 今年度のブロック別地域団体研究協議会では、4 地域を会場に、その特性を活かした開催方式を採用する。その際には、都内全域で活躍する地域団体に参加を求める。</p>	<p>都内 4 箇所にてブロック会議を開催</p> <p>6 月 16 日 葛飾区堀切地区センター 70 名参加</p> <p>10 月 26 日 練馬区光が丘区民センター 60 名参加</p> <p>11 月 8 日 北区国立スポーツ科学センター 50 名参加</p> <p>2 月 14 日 羽村市コミュニティセンター 40 名参加</p>
<p>2 平成 15 年度に実施した「東京地域における男女平等参画の実態調査」の結果を受けて、社会制度や慣習の見直しについて積極的に働きかけていく。</p>	<p>調査結果等を基にさらに学習を深め、他団体との交流をもち、意識改革を訴えていく</p> <p>9 月 14 日 国立女性教育会館にて、指導者研修会開催 講演 『今なぜ、男女共同参画なのか』 講師 国立女性教育会館理事長 神田道子氏</p> <p>10 月 19 日 北海道胆振支庁女性国内研修団との交流会開催</p>
<p>3 政策・方針決定の場への参画 審議会・委員会等への半数以上の参画を求め、機会を得たら、積極的に行動する。</p>	<p>東京都の審議会、国の審議会等へ積極的に参加</p> <p>(都) 東京都医療審議会、東京都薬事審議会、東京都中央卸売市場審議会、東京都消費生活対策審議会 等</p> <p>(国) 産業構造審議会、情報通信審議会、国民生活審議会 等</p>
<p>4 普及広報 東京地婦連機関誌『婦人時報』(毎月 1 回、15 日発行)を通して、男女平等参画に関する情報提供を行う。特に具体的な実施例を掲載する。</p>	<p>東京地婦連機関紙『婦人時報』毎月 1 回 15 日発行</p> <p>5 月号 『私と地婦連』総会で上映 24 条草案を書いたベアテさんを招いた講演会に参加</p> <p>9 月号 憲法 24 条を生かそう 第 51 回指導者研修会を開催 05 年「北京+10」会議に出席して</p> <p>10 月号 今なぜ男女共同参画なのか</p> <p>11 月号 全地婦連研究大会開催 北海道胆振支庁から研修団</p> <p>新年特別号 2005 年 NGO 日本女性大会開催</p>

「男女平等参画のための東京都行動計画 平成 17 年度取組実績」

<p>5 家事、介護、育児へ参加する男性・女性への支援</p> <p>家庭内で家事や介護に取り組む男女、特にこれまで未経験で初めて家事等へ参加する男性への支援を行う地域のネットワークづくりを検討する。</p> <p>地域に密着したきめ細かい学習プログラム、具体的・実践的な家事等への疑問、不安を取り除く相談等地域団体の特性を生かした取組みをめざす。</p>	<p>各地域にて研究、取組みを検討している。</p>
--	----------------------------